

## Exercise for Global Communication II

担当教員：高橋辰宏、非常勤講師 他

担当教員の所属：

開講学年：3～5年次 開講学期：3～5年前期 単位数：1単位 開講形態：演習

開講対象：博士課程5年一貫教育プログラム

科目区分：必修科目

### 【授業概要】

#### ・テーマ

研究活動だけに限らず、グローバルな舞台で活躍をするためには、学会やシンポジウム、セミナーなどにおける英語能力のみでなく、国際的な企業交渉や外交交渉などに挑めるような交渉力、調整力、説得力、人を惹きつける力、プレゼンテーション力などが必然的に求められることになる。本演習では、短期海外研修への参加およびインタラクティブな実践型授業を行うことで、これらの能力形成を図る。

#### ・ねらい

短期海外研修等へ参加し世界を体感、説明力・グローバルコミュニケーション力の必要性を認識するとともに、演習では各種交渉・商談を成し遂げるために必要な説明力、説得力を学び、ディベート型学習を通じて交渉力を身につける。実際の交渉や商談の場面を想定しながら英語力を向上させる。

#### ・目標

1年次後期、(1)海外短期研修に参加し、グローバルなコミュニティの中で英語プレゼンテーションを体験し、専門外の研究者にもわかりやすい説明および議論を実践する。グローバル企業訪問、海外学生との切磋琢磨で、自分の現在のグローバル力を位置づける。3～5年次前期、(2)単に相手に対して羅列的に説明するだけでなく、客観性、論理的な裏づけ、提案メリットについて相手を納得させ、交渉を有利に進めるための総合的能力を育成する。論理的一貫性を伴った交渉術やディベートの方法をしっかりと体得する。また長期海外インターンシップに備えて、インターンシップ受け入れのための英文履歴書・業績書での自己アピール力、専門用語による発表・議論の仕方および論文の書き方についても学ぶ。臆せず積極的に交渉・商談・外交の場に参加し、戦略的に議論や説明を展開できる力量を身につける。

#### ・キーワード

プレゼンテーション、海外短期研修、英文履歴書・業績書、CV、説明力、質問力、交渉力・説得力、論理的一貫性、リーダーシップ、人間力

### 【授業計画】

#### ・授業の方法

英語での議論する力、説明する力を身につける。また、グローバル企業を見学することで、自分自身の将来像に対して明確なビジョンを持つとともに、グローバルに働くことはいかなる意味を持つかを考える。

海外インターンシップを目標に自分をアピールできる英文履歴書・業績書の作成し発表する。また、海外インターンシップ先を想定したプレゼンテーション資料を作成し発表する。講義を基本としつつ、ディベート演習を随時、講義内に取り入れ、また各種交渉の場面を想定して、ケースワーク型の学習を行う。レポートや論文の書き方、英語によるプレゼンテーションについても学ぶ。講義内は原則英語のみの使用とする。

#### ・日程

- 1回目 グローバル人材に必要な「7つの習慣」
- 2回目 CVセミナー（英語 CV の重要性と書き方）その1
- 3回目 CVセミナー（英語 CV の重要性と書き方）その2
- 4回目 研究紹介発表・議論 その1
- 5回目 研究紹介発表・議論 その2
- 6回目 リーダーシップチャレンジ 発表・議論 その1
- 7回目 リーダーシップチャレンジ 発表・議論 その2

※内容および担当教員は変更する場合があります。

### 【学習の方法】

#### ・受講のあり方

講義は全て英語で実施します。分からないことは積極的に質問するようにしてください。またディベート演習などを毎回実施しますので、積極的に発言するようにしてください。特に留学生との交流や会話を自主的に行い、語学だけでなく異文化交流の面白さとコミュニケーションの方法を体得してください。また、英語以外の国際言語の習得も歓迎します。

#### ・予習のあり方

日ごろから英語の論文・著書・新聞・雑誌に目を通すとともに、英語によるニュースなどを見るように心掛けてください。講義の内外において英語でコミュニケーションをとるように努めてください。

#### ・復習のあり方

毎回、担当教員より指示します。

### 【成績評価の方法】

#### ・成績評価基準

英語 CV, 研究紹介プレゼンテーション, リーダーシップチャレンジのプレゼンテーション, 出席点および受講姿勢（積極性など）で総合的に評価  
上記合計で、60 点以上を合格とする

### 【参考書】

講義の中で適宜紹介します。

（2）では、リーダーの本質を知る世界的な名著“The Seven Habits of Highly Effective People” “The Leadership Challenge” を使用します。（日本語訳「7つの習慣」キング・ベアー出版 「リーダーシップチャレンジ」海と月社）

### 【科目の位置付け】

博士課程5年一貫教育プログラムでは必修科目となります。